-		·		_											
部局名 産業	活力部		所属名	農政	課			所属	長名	山本 島	· ———	電話	483-1151 内絲	3561	
1. 事務事	業の位	置付け・概要	Ę (Pl	LΑΙ	<b>V</b> )										
コード	3804	事務事業名称	環境保	全型農	農業推進対策事	事業						短縮コー	ード 経常	臨時 3804	
予算区分 会	€計 01	一般会計		款	06 農林水產	産業費		項	01	農業費		目	04 園芸農産業	費	
		 -開始したきっかけ	を含めて	(記入)	<u> </u>										
る。		処理対策推進事業援対策事業により					<b>発プラス</b> ラ	・・・・・ チック類	<b>手につい</b>	ハて,適正	E処理による農村!	環境の保	全と生産農家の値	建全な発展を図	
事務事業を耳	取り巻く状	、	後の変化	上の推済	則		6 本の	柱(章)	) (	06 第6	第6章産業活力都市をめざして				
農村環境保全	という観	点から今後益々農	家要望が	増大す	-る。		大項目	(節)	(	01 第 1	節農業				
						総合計	中	項目	(	01 1. )	1. 農業				
						画の施	//\ 1	小 項 目	(	04 (4)	(4)人と環境にやさしい農業の推進				
						策									
						系	細	項 目		02 ②環	②環境保全型農業の資		生		
							実施 請 画	† 画 <i>0</i> 事 業							
計画事業の位	ೱ置付けの	 有無		計	画 事 業 期	間	~ 計画事業			計画事業費	費千円				
2. 事務	 事業のE	 目的・指標・:	 実績(	DO	)										
対象 (誰を何を対 ているのか)	対象にし	水稲農家,園芸鳥	農家(野菜	戻・果林	計・施設園芸)	,園芸用廃	ジラスチ	ック処	 理対策	<b>養推進事業</b>	(八千代市農業用	廃プラス	チック対策協議	会)。	
		※平成23年度に実 園芸用廃プラスラ 全な発展を図る事	チック処3	理対策	推進事業によ	り、園芸農	景家から排	出する	園芸用	見廃プラス	チック類の適正処	旦理による	る農村環境の保全	と生産農家の健	
手段 (具体的な事務事業 のやり方、手順、詳 細) ※平成24年度に計画していること: 園芸用廃プラスチック処理対策推進事業により、園芸農家から排出する園芸用廃プラスチック類の適正処理による農村環境の保全と生産農家の健全な発展を図る事業に対して補助を行う。また、国、県の環境保全型農業直接支援対策事業に参加する農家に補助を行う。								と生産農家の健							
意図 (何を狙って か)	こいるの	・農村環境の保全	<u> </u>												
ねらい (上位 意図)	拉施策の	入力対象外													
区分						単	単位	2	2 2 年度  実績			2 4 年度			
	指標 1	農家					戸数	χ				941	<del>夫</del> 棋 851		
対象指標	指標 2										-		301		
	指標3														
	指標 1	園芸用廃プラチュ		仅量			トン	/		15.	79	15	12. 84	15	
活動指標	指標 2	補助金額					円			384, 0		000	310, 000	384, 000	
	指標3														

園芸用廃プラスチックリサイクル工場に搬入した農家戸数

指標 1

指標2

指標3

指標 1

指標2

指標3

成果指標

上位成果指標

70

70

70

70

<b>⊐</b> -	- <b>ド</b> 3804	事務事業	<b>美名称</b>	環境保全型農業推進対策事業		所属名 農政課			
			単位	2 2 年度	2 3	3年度	2 4 年度		
			平位	実績	計画	実績	計画		
		国	千円	0	0	0	0		
	財源内訳	県	千円	142	142	121	190		
		地方債	千円	0	0	0	0		
_		一般財源	千円	254	242	189	292		
事業		その他	千円	0	0	0	0		
費 (A)	主な事業費の内訳			普通旅費12千円, 補助金384千円	補助金384千円	補助金310千円	補助金482千円		
人件費(B) 千円				1, 366. 4	1, 259. 1	1, 309. 5	1, 259. 1		
ト — タ ル コ ス ト (A) + (B)   千円			千円	1, 762. 4	1, 643. 1	1, 619. 5	1, 741. 1		

## 3. 事務事業の評価(SEE)

_									
評価 類型	評価事項	評価区分	理由						
		☑ 結び付いている	環境保全型の農業を推進していくために必要である。						
	   ①事業目的が上位の施策に結びつ	□ 結び付くが見直しの余地がある							
	いているか?	□ 結びつきが弱い・ない							
		□ 評価対象外事項							
		□ 達成している	環境保全型の農業の推進を図るために継続的に行う必要がある。						
В	②すでに所期目的を達成しているか?	☑ 達成していない							
目的妥当	※「達成している」を選んだ場合、⑥ に進んでください。	□ 評価対象外事項							
性	③民営化で目的を達成できるか?	□ 可能性はある	国、県の補助制度に基づくものであり、市で行っていくべきものであるため。						
	※民営化・・・事務事業の全部又は一 部の実施主体を全面的に民間事業者等 に移行すること。	☑ 可能性はない							
	(民間委託は、権限に属する事務事業 等を委託することで、民営化とは異な る。)	□ 評価対象外事項							
		☑ 現状のままでよい	農村環境の保全に取り組む事業であるので目的に適合している。						
	④「対象」・「意図」の設定は現 状のままで良いか?	□ 見直す必要がある							
		□ 評価対象外事項							
		□ 有効性向上の可能性がある	廃プラスチック処理対策事業は農村の環境保全の推進を図るための補助事業であるが,処理料金は県より示されており,また処理方法は一定であるので有効性,効率性の向上は考えにくい						
	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか? 可能性がある場合は、⑤-2,	□ 効率性向上の可能性がある							
	3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記	□ 両方可能性がある							
	入する。 	☑ 可能性がない							
有	   ⑤-2   有効性や効率性を向上さ	□ 民間委託等							
効 性 •	特別性で別年性で 特別性で別年性で 一個である手段は何か? 一該当する手段を選択し、 具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」 である場合は、該当する類似事業を記入する。	□ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用							
効率		□ IT化等の業務プロセスの見直し							
性		□ 受益者負担の見直し							
		□ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 実施主体 (所管部署)						
		□ 上記以外の方法	事業     実施主体       名称     2						
	5-3 推進にあたっての課題はあ るか?(一時的な経費増・市	□ ある							
	民の理解等)	口ない							

<b></b>	- ド 3804 事務事業名称	環境保全型農業推進対策事業							農政課	
今後の方向	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。					廃プラスチック類の野焼き、不法投棄の防止、リサイクル社会の構築という環境保全の制から今後も継続していかなければならない。 環境保全型農業直接支援対策事業を通じ環境負荷の低い農業の普及を図る。				
性				経		費	処理する重量に比例して拠出する金額も上下する。農家数は減少傾向にある	金額も上下する。農家数は減少傾向にある		
				削減	不	変増加	環境保全型農業直接支援	対策事業	量は増えていくと思われる。 を通じ環境負荷の低い農業の普及を図るた	
	⑦この事務事業の今後の経費・成果 の方向性について選択し、右欄に理	广	] 上				め、最低限のコストはか	かるため。	)	
	由を記載する。	「	<b>2</b>							
		果 ——	下							
	※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など 都市化の進行、農村環境の保全、園芸用廃プラスチックの野焼き等の発生防止のため、廃プラスチック処理対策事業及び環境保全型農業直接支援対策事業の継続を望む声が市民、議員からある。									
所属長コメント	展 長 コ メ ン									
評価調整委員会評価	□ 改革改善して継続 □ 手法プロセスの改革・改善 □ 事業規模の拡大・縮小 □ 統合・役割見直し □ その他 □ 廃止・休止 □ 事業完了 ☑ 現状のまま継続	当課の評値	画のとお	3り,現状⊄	つまま継	続とする。				